

令和5年度大分県学力定着状況調査結果分析と改善方策について

宇佐市教育委員会

小学校 国語

(1) 偏差値及び正答率

| 偏差値 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 宇佐市 | 50.8 | 52.0 |
| 大分県 | 51.1 | 51.2 |

| 正答率 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 目標値 | 73.1 | 54.4 |
| 宇佐市 | 74.8 | 64.7 |
| 大分県 | 75.4 | 62.7 |

(2) 観点別・領域別正答率

| | 観 点 | | | 領 域 | | | | | |
|-----|-------|----------|---------------|---------------------|----------------------|--------------------|---------------|------|------|
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | 言葉の特徴や使い方に 関する事項 | 情報の扱い 方に関する 事項 | 我が国の言語文化に 関する事項 | 話すこと・ 聞くこと | 書くこと | 読むこと |
| 目標値 | 68.2 | 63.0 | 50.0 | 71.5 | 56.7 | 70.0 | 71.7 | 53.3 | 68.3 |
| 宇佐市 | 72.1 | 70.1 | 59.5 | 71.9 | 70.8 | 78.3 | 72.8 | 67.4 | 71.4 |
| 大分県 | 72.7 | 68.5 | 56.6 | 72.5 | 70.1 | 82.8 | 72.4 | 63.4 | 71.7 |
| 偏差値 | 50.9 | 52.2 | 52.9 | 51.1 | 50.9 | 48.4 | 50.3 | 53.5 | 49.9 |

(3) 結果のポイント

○知識・活用において、偏差値50を上回っている。偏差値・正答率において、活用は県平均を上回っているが知識は下回っている。

○観点別・領域別正答率では、観点別「思考・判断・表現」が県平均を上回っており、特に、領域別「書くこと」については上回っている。しかし、「我が国の言語文化に関する事項」については、県平均を下回っている。

(4) 授業の改善のポイント

【言葉の特徴や使い方に 関する事項】

○当該学年に配当されている漢字を文や文章の中で使うことが重要。

- ・漢字の持つ意味や熟語と関連させたり、文や文章の中でそれらが使えたりするよう指導する。また、長期記憶につなげるために、読書活動の充実を図っていく。

○語句の役割や、語句相互の関係に気を付けて、文がどのように組み立てられているかを理解することが重要。

- ・文の構成や語句相互の関係を図にまとめたり、語句の役割を表にしたりと視覚化を図りながら指導していく。

【読むこと】

○文章の内容を具体的に想像するには、複数の叙述を結びつけて読み、読み取ったことを基にして、総合的に判断する必要性に気づかせることが重要。

- ・登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結びつけることで、人物像(性格や考え方など)を捉えさせていく。
- ・登場人物や場面設定など、個々の叙述を基に、物語の全体像を具体的にイメージさせる。

(1) 偏差値及び正答率

| 偏差値 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 宇佐市 | 51.7 | 52.2 |
| 大分県 | 52.0 | 51.9 |

| 正答率 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 目標値 | 69.3 | 56.4 |
| 宇佐市 | 70.9 | 62.4 |
| 大分県 | 71.4 | 61.8 |

(2) 観点別・領域別正答率

| | 観 点 | | | 領 域 | | | |
|-----|-------|--------------|-------------------|------|------|-------|--------|
| | 知識・技能 | 思考・判断・ 表現 | 主体的に学習に 取り組む態度 | 数と計算 | 図形 | 変化と関係 | データの活用 |
| 目標値 | 68.7 | 55.0 | 54.4 | 66.8 | 60.6 | 68.0 | 60.0 |
| 宇佐市 | 72.0 | 57.9 | 59.1 | 70.9 | 62.4 | 76.2 | 60.3 |
| 大分県 | 72.1 | 57.9 | 58.1 | 71.0 | 62.1 | 74.3 | 63.4 |
| 偏差値 | 52.1 | 51.5 | 52.7 | 52.0 | 52.0 | 51.8 | 50.5 |

(3) 結果のポイント

○知識・活用において、偏差値50を上回っている。偏差値・正答率において、活用は県平均を上回っているが知識は下回っている。

○観点別・領域別正答率では、目標値はすべて上回っている。また、観点別「主体的に学習に取り組む態度」、領域別「図形」、「変化と関係」は県平均を上回っているが、「データの活用」は県平均を下回っている。

(4) 授業の改善のポイント

【数と計算】

○4桁ごとに新たな単位を取り入れていることを知り、整数についての表し方や読み方について、一応のまとめをするとともに、十進位取り記数法についての理解を深めることが重要。

・整数は、十進位取り記数法によって表されることを、位取り表等を使って繰り返し指導する。

- ① それぞれの単位の個数が10になると新しい単位に置き換える。(十進法の考え)
- ② それぞれの単位を異なる記号を用いて表す代わりに、これを位の位置の違いで示す。(位取りの考え)

○およその金額の計算では、目的に合った数の処理の仕方を考えることが重要。

・数の大きさを見積もる学習は、日常生活場面と関連付けて指導していく。その際、切り上げ、切り捨て、四捨五入の方法を習得させるとともに、目的に応じた使い分けができるようにすることが大切である。

【面積】

○面積の求め方を理解できるようにするとともに、面積や単位についての感覚を身に付けさせることが重要。

・面積の見当を付けることは、長さの見当を付けることよりも難しい。そのため、調べる対象の縦と横の長さの見当を付ける場面を設定し、その上でおよその面積を求める学習活動を行う。

・調べる対象の大きさ(はがき、教科書、黒板等)に応じて、単位間の関係に注意しながら、適切な単位を用いることができているかを重視する。

(1) 偏差値及び正答率

| 偏差値 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 宇佐市 | 51.1 | 50.7 |
| 大分県 | 50.5 | 51.0 |

| 正答率 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 目標値 | 69.1 | 54.4 |
| 宇佐市 | 72.3 | 57.9 |
| 大分県 | 71.1 | 58.6 |

(2) 観点別・領域別正答率

| | 観 点 | | | 領 域 | |
|-----|-------|----------|---------------|----------|-------|
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | 物質・エネルギー | 生命・地球 |
| 目標値 | 69.1 | 60.0 | 52.5 | 61.3 | 69.0 |
| 宇佐市 | 71.5 | 64.4 | 49.3 | 64.2 | 72.7 |
| 大分県 | 70.0 | 64.7 | 52.1 | 62.1 | 73.4 |
| 偏差値 | 51.3 | 50.6 | 49.3 | 51.2 | 50.7 |

(3) 結果のポイント

- 知識・活用において、偏差値50を上回っている。偏差値・正答率において、知識は県平均を上回っているが活用は下回っている。
- 観点別・領域別正答率では、観点別「知識・技能」、領域別「物質とエネルギー」が県平均を上回っているが、観点別「思考・判断・表現」、領域別「生命・地球」は県平均を下回っている。

(4) 授業の改善のポイント

【生命・地球】

- 季節ごとの身近な動物の活動の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて調べることが重要。
 - ・季節による動物の活動の変化について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するとともに、動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを捉えるように指導していく。
 - ◆実際の観察ができない場合→ICT、図書教材等を活用

- 月や星の位置の変化や時間の経過に着目して、それらを関係付けて、月や星の特徴を調べることが重要。
 - ・月の特徴について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するとともに、月は三日月や満月など日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを捉えるように指導していく。

【物質・エネルギー】

- 水を温めたり、冷やしたりしたときの体積の変化に着目して、それらと温度の変化とを関係付けて、水の温度変化に伴う体積の変化を調べることが重要。
 - ・問題解決の学習活動を次のように展開させていく。
 - ① 児童が見いだした問題に対して、既習の内容や生活経験を基に予想させる。
 - ② 予想や仮説を確かめるための観察や実験の方法を考える。
 - ③ 予想が確かめられた場合に得られる実験の結果について、見通しをもたせる。

(1) 偏差値及び正答率

| 偏差値 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 宇佐市 | 51.0 | 51.0 |
| 大分県 | 51.8 | 51.5 |

| 正答率 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 目標値 | 66.5 | 51.7 |
| 宇佐市 | 69.6 | 56.7 |
| 大分県 | 71.1 | 58.0 |

(2) 観点別・領域別正答率

| | 観 点 | | | 領 域 | | | | | |
|-----|-------|----------|---------------|-----------------|--------------|----------------|-----------|------|------|
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 情報の扱い方に関する事項 | 我が国の言語文化に関する事項 | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと |
| 目標値 | 61.2 | 57.5 | 49.0 | 65.6 | 40.0 | 85.0 | 66.7 | 53.6 | 57.5 |
| 宇佐市 | 64.2 | 62.3 | 54.5 | 67.1 | 45.8 | 92.6 | 63.7 | 62.1 | 61.7 |
| 大分県 | 66.4 | 62.8 | 55.0 | 70.2 | 46.3 | 92.6 | 66.7 | 61.7 | 62.2 |
| 偏差値 | 50.7 | 51.3 | 51.6 | 50.3 | 51.0 | 50.7 | 49.6 | 52.0 | 50.5 |

(3) 結果のポイント

○知識、活用において偏差値50は超えている。偏差値と正答率において、県平均を下回っている。

○領域別正答率で、「書くこと」については、県平均を上回っているが、その他の部分においては県平均を下回っている。

(4) 授業の改善のポイント

【話すこと・聞くこと】

○複数の資料から必要な情報を取り上げ、伝える側の立場に立つとともに、伝える目的を明確に考えることが重要。

- ・資料からどのような情報を取り上げるかを考えると同時に、話し手の目的や意図に合わせて、自分の考えをその目的に沿って構築させていくことが考えられる。

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

○漢字の書き取り学習だけでなく、漢字の意味や文章中での使い方にも関連させながら、学習していくことが重要。

- ・漢字クイズに取り組んだり、ICT 教材を活用して学習を進めたりする。また、長期記憶につなげるために、読書活動の充実も考えられる。

【書くこと】

○読み手の立場に立ち、文章を整える際には、伝えようとする事柄や意見などが、十分に書き表されているかどうかを検討することが重要。

- ・課題に沿って文章や図表などから必要な情報を取り上げさせるとともに、取り上げた情報が自分の伝えたい根拠としてふさわしいかどうかを検討させることが考えられる。

(1) 偏差値及び正答率

| 偏差値 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 宇佐市 | 50.6 | 48.7 |
| 大分県 | 51.2 | 50.0 |

| 正答率 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 目標値 | 53.8 | 46.1 |
| 宇佐市 | 53.9 | 43.5 |
| 大分県 | 55.2 | 46.6 |

(2) 観点別・領域別正答率

| | 観 点 | | | 領 域 | |
|-----|-------|----------|---------------|------|------|
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | 地理 | 歴史 |
| 目標値 | 52.0 | 51.0 | 46.1 | 53.8 | 48.9 |
| 宇佐市 | 51.8 | 49.7 | 43.5 | 53.2 | 47.9 |
| 大分県 | 53.9 | 51.3 | 46.6 | 55.8 | 48.9 |
| 偏差値 | 50.4 | 49.5 | 48.7 | 49.8 | 50.1 |

(3) 結果のポイント

○知識は、偏差値50を超えている。偏差値と正答率において、県平均を下回っている。

○観点別・領域別正答率においてはすべての項目で県平均を下回っている。

(4) 授業の改善のポイント

【地理】

○地図帳等を活用し、都道府県の位置や都道府県庁所在地名の理解を図っていくことが重要。

・地図帳の索引を使って、それぞれの位置を探す活動をしたり、ICT 教材を活用して理解、定着を図っていったりすることが考えられる。

○各国の統計資料を読み取り、既習事項と関連付けながら、各州(オセアニア等)の地域的特色を捉えることが重要。

・下記のどの段階でつまづいているかを把握し、支援・指導していく。

- ①基本的な内容を理解する(各国の位置等)段階
- ②資料を読み取る(各国の統計資料から目的等に沿って必要な情報をまとめる)段階
- ③読み取った情報と既習内容を関連付けて考察する段階

【歴史】

○歴史上の出来事や人物についての知識だけでなく、時代背景及び政策を前後の出来事と関連付けることが重要。

・歴史上の出来事や人物において、当時の様子やその政策に至った原因やその政策によって何が変化したのかなどを関連付けたり、図や表にまとめたりすることが考えられる。

(1) 偏差値及び正答率

| 偏差値 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 宇佐市 | 52.1 | 51.2 |
| 大分県 | 51.0 | 50.4 |

| 正答率 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 目標値 | 59.8 | 41.3 |
| 宇佐市 | 62.9 | 37.9 |
| 大分県 | 60.3 | 35.7 |

(2) 観点別・領域別正答率

| | 観 点 | | | 領 域 | | | |
|-----|-------|--------------|-------------------|------|------|------|--------|
| | 知識・技能 | 思考・判断・ 表現 | 主体的に学習に 取り組む態度 | 数と式 | 図形 | 関数 | データの活用 |
| 目標値 | 59.8 | 38.6 | 42.3 | 60.0 | 58.8 | 44.2 | 50.0 |
| 宇佐市 | 62.5 | 35.7 | 41.4 | 62.2 | 61.5 | 45.7 | 47.7 |
| 大分県 | 59.8 | 33.9 | 39.7 | 60.5 | 58.4 | 44.3 | 42.7 |
| 偏差値 | 52.3 | 50.8 | 51.4 | 51.5 | 51.5 | 51.7 | 52.5 |

(3) 結果のポイント

○知識・活用において、偏差値50をすべて上回っている。偏差値と正答率において、すべての項目で県平均を上回っている。

○観点別・領域別においても、すべての項目で県平均を上回っており、特に「図形」、「データの活用」においては、大幅に上回っている。

(4) 授業の改善のポイント

【数と式】

○図や表に表し、問題を可視化させることが重要。

・一元一次方程式を活用する問題解決の過程を充実させる必要がある。

- ①求めたい数量に着目し、それを文字で表す
- ②問題の中の数量やその関係から、二通りに表せる。
- ③それらを等号で結んで方程式をつくり、その方程式を解く。
- ④求めた解を問題に即して解釈し、問題の答えを求める。

○正の数・負の数の意味を理解させるとともに、立式した際、なぜそのような計算方法になるのかを考えることが重要。

・正の数・負の数の加法や減法など、数直線等を活用しながら視覚化させ、なぜそのような計算になるのかを捉えさせていくことが大切である。

【データの活用】

○データの傾向を読み取り、それを説明する際に、度数折れ線の形や複数の階級の度数の大小関係に着目して、それらを基に説明できるようにすることが重要。

・分布について生徒に説明させる際にどのようなところに着目(データが集まっているところなど)しているかを問い返したり、目的に応じてデータの傾向やその特徴を伝えるための根拠としてどの代表値を用いるべきか判断したりする活動を取り入れることが大切である。

(1) 偏差値及び正答率

| 偏差値 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 宇佐市 | 50.0 | 48.7 |
| 大分県 | 51.1 | 49.7 |

| 正答率 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 目標値 | 60.0 | 45.0 |
| 宇佐市 | 60.3 | 39.8 |
| 大分県 | 62.9 | 41.9 |

(2) 観点別・領域別正答率

| | 観 点 | | | 領 域 | | | |
|-----|-------|----------|---------------|-------|------|------|------|
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | エネルギー | 粒子 | 生命 | 地球 |
| 目標値 | 58.8 | 51.9 | 45.0 | 48.1 | 57.7 | 71.3 | 40.7 |
| 宇佐市 | 58.8 | 49.0 | 38.6 | 44.8 | 58.1 | 71.7 | 36.1 |
| 大分県 | 61.7 | 51.2 | 40.5 | 46.4 | 60.8 | 75.2 | 38.0 |
| 偏差値 | 50.3 | 48.9 | 49.0 | 48.4 | 49.6 | 50.7 | 49.6 |

(3) 結果のポイント

○知識は、偏差値50を超えている。偏差値と正答率において、県平均を下回っている。

○領域別正答率では、「粒子」、「生命」においては目標値を上回っているものの、他の領域も含め県平均は下回っている。

(4) 授業の改善のポイント

【粒子】

○気体の特徴を理解させるとともに、実験の目的を把握し、それらを可能とする実験方法について考えることが重要。
 ・探求のために必要な観察・実験等の基本的な技能(測定方法、データの処理等)を確実に身に付けさせる指導の充実を図っていく。

【エネルギー】

○問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、規則性、関係性、共通点や相違点、分類するための観点や基準を見だして表現することが重要。
 ・雷鳴や打ち上げ花火などの生活体験と関連付ける活動を仕組みながら問題を見だし、音が空気中を伝わることや、空気など音を伝える物質の存在が必要であることを捉えさせていく。

【地球】

○地層の重なり方や広がり方についての規則性を見だして理解させたり、地層を構成する岩石や産出する化石などから、地層が堆積した環境と生成された年代を推定させたりすることが重要。
 ○観察記録や資料を活用して、火山の形、活動の様子及びその噴出物を地下のマグマの性質と関連付けて理解させることが重要。
 ・観察や実験を行い、結果をもとに考察する時間を十分に確保するとともに、考察したことや結論を表現できるように指導する。(ワークシートの穴埋めではなく、自分の言葉で表現できるようにする)

(1) 偏差値及び正答率

| 偏差値 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 宇佐市 | 48.8 | 50.1 |
| 大分県 | 50.4 | 50.4 |

| 正答率 | 知識 | 活用 |
|-----|------|------|
| 目標値 | 54.8 | 40.0 |
| 宇佐市 | 48.3 | 30.5 |
| 大分県 | 51.5 | 31.2 |

(2) 観点別・領域別正答率

| | 観 点 | | | 領 域 | | |
|-----|-------|----------|---------------|------|------|------|
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | 聞くこと | 読むこと | 書くこと |
| 目標値 | 56.3 | 41.2 | 31.0 | 60.6 | 53.2 | 37.0 |
| 宇佐市 | 50.5 | 31.2 | 17.8 | 52.0 | 46.0 | 30.4 |
| 大分県 | 53.1 | 33.5 | 19.4 | 53.9 | 48.3 | 33.5 |
| 偏差値 | 49.1 | 49.3 | 50.2 | 48.7 | 48.9 | 49.9 |

(3) 結果のポイント

- 活用は、偏差値50を超えている。偏差値と正答率において、県平均を下回っている。
- 観点別・領域別正答率においては、すべての項目で県平均を下回っている。

(4) 授業の改善のポイント

【聞くこと】

- 話されることの全てではなく、聞き手として目的に応じて知りたいことや欲しい情報などの「必要な情報」を聞き取る力を身に付けさせることが重要。
- ・生徒にとって身近な学校生活や家庭生活などを想定するとともに、音のつながりなどが聞き取れるようになるためにも過度に遅くなく自然な速度に近い音声を聞き取れる活動を多く設定する。

【読むこと】

- 一文ずつ解決しながら全体の理解につなげるボトムアップの読み方ではなく、文章全体を読んで大切な部分を捉えさせる読み方を指導することが重要。
- 教え込むのではなく、生徒の気づきを引き出しながら指導することが重要。
- ・読む目的に応じて要点を把握させるとともに、文章から取り出した情報をもとに自分の考えを話したり書いたりするなど、領域間の統合的な言語活動を行う。

【書くこと】

- 「日常的な話題」について、自分が伝えたいことや情報、考えたことや感じたことなどを明らかにし、それらを整理した上で、内容的にまとまりのある文章を書くことを身に付けさせることが重要。
- ・学校生活や家庭生活における出来事について、メールや手紙、日記、レポート、スピーチ原稿などの形式により、事実を伝えたり、出来事を描写したり、考えを述べたり、気持ちを伝えたりする言語活動を行う。

【小学校】

◎全国を5ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値(良好な回答の合計)

| 番号 | 質問 | 宇佐市 | 全国 |
|----|---|------|------|
| 1 | あなたの発言は、クラスのみんなを動かす力があると思いますか。 | 50.5 | 45.2 |
| 2 | あなたは、学校生活の中で何回ぐらい、自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりしていますか。 | 57.2 | 48.1 |
| 3 | テストで間違えた問題は、あとでやり直していますか。 | 86.8 | 78.5 |
| 4 | ノートの取り方について、自分なりの工夫をしていますか。 | 81.0 | 75.0 |

▲全国を5ポイント以上下回る項目 ※数値は肯定値(良好な回答の合計)

| 番号 | 質問 | 宇佐市 | 全国 |
|----|---|------|------|
| 1 | あなたががんばったとき、友だちから、がんばったね、すごいねと、ほめてもらったことがありますか。 | 80.5 | 86.0 |
| 2 | 自分なりにがんばったとき、先生が認めてくれて、うれしかったことがありますか。 | 76.0 | 82.7 |
| 3 | 学校の授業では、友だちと教え合う時間がありますか。 | 82.5 | 88.2 |
| 4 | 学校の授業では、となり同士やグループで話し合ったり、討論したりすることがありますか。 | 81.5 | 87.5 |
| 5 | あなたのクラスでは、みんなが先生の言うことを守っていますか。 | 78.1 | 86.3 |
| 6 | クラスの人がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがありますか。 | 37.7 | 47.4 |
| 7 | 球技大会やクラスの発表会などがあるとき、あなたのクラスは盛り上がりつつ団結しますか。 | 82.9 | 88.2 |
| 8 | クラスの中で、だれかが困っているとき、みんなで、その人を助けてあげよう、はげましてあげようとするふんいきが、あなたのクラスにはありますか。 | 84.1 | 89.4 |
| 9 | あなたは、クラス全員の、一人ひとりのいいところを、言葉にして言うことができますか。 | 68.0 | 76.3 |
| 10 | 今のクラスが好きですか。 | 82.7 | 88.2 |
| 11 | クラスや部活で冷やかされたり、からかわれたり、いやなことをしつこく言われたりすることがありますか。 | 75.7 | 84.7 |
| 12 | クラスの友だちから、いじめのさそいを受けたことがありますか。(メールでのさそいもふくむ) | 89.9 | 96.1 |
| 13 | 周りでいじめを見たり聞いたりして、心が痛むことがありますか。 | 72.4 | 80.0 |
| 14 | 信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度をとられたりして、傷ついたことがありますか。 | 53.1 | 62.7 |
| 15 | 学校に持っていく物は、前の日のうちに確かめていますか。 | 69.7 | 75.8 |
| 16 | 学校の授業の予習や復習をしていますか。 | 44.7 | 54.1 |

○全体的に「自己肯定感」「社会参画」が高い。

○全国と比較して、「学級風土」「リスク管理」がやや低い傾向にある。

○「学級の規範意識」、「いじめのサイン」が低い傾向にある。昨年度も課題として挙げられ、児童生徒一人ひとりの様子や友だち関係について、チームとして組織的な生徒指導が重要である。

その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 平日(月～金)、1日どれくらいの時間、テレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりしますか。 | 2時間 20.4%(全国 24.4 県 22.3) R4…18.2% 3時間 18.0%(全国 17.3 県 14.4) R4…28.4% 4時間以上 23.3%(全国 18.7 県 17.1) |
| 2 | 学校の授業以外で、週に何日ぐらい勉強していますか。 | ほぼ毎日 28.4%(全国 41.8 県 35.0) ほとんどしない 29.6%(全国 16.2 県 19.8) |

○メディアの視聴や使用に関しては、昨年度よりもやや改善傾向にあるが、依然として長時間の視聴や使用は多い。小中連携したメディアコントロールの取組も推進していくが、家庭や地域の協力が不可欠である。

【中学校】

◎全国を5ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値(良好な回答の合計)

| 番号 | 質問 | 宇佐市 | 全国 |
|----|---|------|------|
| 1 | 近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。 | 89.7 | 73.3 |
| 2 | 小さい子や、お年寄りがこまっているときは、まよわず手助けをしていますか。 | 76.0 | 69.3 |
| 3 | ニュースなどで、戦争や災害、貧しさで苦しんでいる人々を見ると、心が痛みますか。 | 87.3 | 81.6 |
| 4 | お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加していますか。 | 71.6 | 63.8 |
| 5 | 勉強するときは、自分で計画を立てていますか。 | 55.5 | 50.5 |
| 6 | 学校の授業の予習や復習をしていますか。 | 53.1 | 46.9 |
| 7 | あなたは、授業や日常生活の中で、不思議だな、どうしてだろう、と思ったことを調べていますか。 | 52.2 | 47.2 |

▲全国を5ポイント以上下回る項目 ※数値は肯定値(良好な回答の合計)

| 番号 | 質問 | 宇佐市 | 全国 |
|----|--------------------------------|------|------|
| 1 | 周りでいじめを見たり聞いたりして、心が痛むことがありますか。 | 77.9 | 86.8 |

○「おもいやり」「社会参画」「学習習慣」「学習意欲」の肯定値が高い。

○「対人ストレス」「いじめのサイン」の肯定値がやや低く、生徒一人ひとりの様子や友だち関係について、チームとして組織的な生徒指導が重要である。

その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

| | | | |
|---|---|-------|--------------------------------|
| 1 | 平日(月～金)、1日どれくらいの時間、テレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりしますか。 | 2時間 | 25.5%(全国 29.1 県 30.1) R4…18.4% |
| | | 3時間 | 24.3%(全国 25.8 県 24.2) R4…28.4% |
| | | 4時間以上 | 33.7%(全国 23.1 県 20.2) |

○メディアの視聴や使用に関しては、毎年課題に挙げられており、長時間の視聴や使用は増加傾向にある。さらに、4時間以上の生徒数の割合が30%以上で、全国値と比較して、非常に高い。小中連携したメディアコントロールの取組も推進していくが、家庭や地域の協力が不可欠である。